

お知らせ

◆遠藤周作の新刊本 『文豪ナビ 遠藤周作』

新潮文庫 880円(税込)
3月発売予定

※新潮社文庫のシリーズ『文豪ナビ』に、生誕100年を機に遠藤周作が加わった。新しい角度から見る遠藤周作・狐狸庵山人の人と文学が新鮮で面白い。

主な目次 遠藤周作を知るための⑤つのキーワード／遠藤周作の名言／『沈黙』のすべて／対談 イッセイ尾形・塚本晋也／私が狐狸庵につかれたウソの数々／お父さん、あなたは大変おかしな人でした 遠藤龍之介

『影に対して』

新潮文庫 649円(税込)
3月発売予定

※一昨年に発見された未発表小説「影に対して」を収めた短篇集の文庫化。作品を完成させながら発表せずに手許に置きつづけた、両親の離婚と、母の人生を見つめた遠藤文学の出发点。表題作のほか、「影法師」「母なるもの」「初恋」などを所収。

『自分をどう愛するか』

—— 幸せの求め方 生活編 ——
生誕百年記念新装版

青春文庫 900円(税込)
青春出版社 1月刊行

※生きているが少しだけラクになる、遠藤周作からの心のメッセージ。「私も臆病だし、小心で卑怯」という著者がユーモアを交えたやさしい語り口でありのままの自分の愛し方について考える。

いて考える。

◆生誕100年・関連講座

遠藤周作を読む——その人と作品

講師 加藤宗哉

日時 5月18日(木)、6月15日(木)、7月13日(木)

会場

全回14時～15時半
東大島文化センター(東京都江東区大島8・33・9)……都営地下鉄新宿線「東大島」駅から徒歩5分。

受講料 3,000円 教材費600円

※内容 ①遠藤作品が遺したものの。②『沈黙』が語るもの。③最後の書下ろし長篇『深い河』を読み解く。

申込み期間 3月10日～24日
定員(30名)を超えた場合は抽選
申込先 電話かファックスで。

☎03・3681・6331
☎03・3636・5825

◆遠藤文学・関連講座

第三の新人 たちの個性と文体

講座名「文章を表現する技術」
4～6月期

※オンラインでの参加も可。
講師 加藤宗哉

日時 4月14日(金)、5月12日(金)、6月9日(金)

会場 朝日カルチャーセンター新宿
※内容 ひとつの時代を築いた安岡章太郎、吉行淳之介、遠藤周作たち「第三の新人」の作家たち——彼らが持ち合わせた魅力とは何か。その独特の感性と表現方法を作品と人生から探る。

受講料 会員10,395円
一般13,695円

申込先 朝日カルチャーセンター新宿

☎03・3344・1945
新宿区西新宿2の6の1

新宿住友ビル10階

※最寄り駅は、都営大江戸線「都庁前」駅、JR「新宿」駅西口。

◆ ◆ ◆

◆周作クラブ会長人事について

当クラブでは暫くは「会長」を空位とします。次の幹事&委員会に対応を協議し、9月の総会に諮る予定です。

◆「会報」の原稿募集

会員の皆さんの原稿を募集しています。900字(半ページ分)あるいは1800字(1ページ分)。遠藤周作のひとと作品について、あるいは遠藤文学との関わりなど、何でも結構です。なお、原稿は必ず下記「周作クラブ」宛てに郵送するか、下記Eメール(原稿添付)でお送りください。掲載の際にはご連絡差しあげます。

◆「周作クラブ」会員募集

「周作クラブ」では会員を募集しています。遠藤文学ファンはもちろん、これから読んでみようという方々も大歓迎です。
年会費は3,000円。入会金はありません。年4回発行の「会報」が送られるほか、会が主催する「新年会」「周作忌」「文学セミナー」や遠藤作品の足跡を訪ねる「遠藤文学・原点の旅」(現在はコロナ禍のため中断)、そして「オンライン懇親会」にも参加できます。下記「周作クラブ」まで、ハガキかEメールでお申込みください。折り返し、資料と会費振込用紙をお送りします。

◆編集後記◆

▼ついこの間お正月でしたが、いつの間にか立春を過ぎ、そろそろ桜の便りが聞こえてきそうです。月日の経過は、本当に早いですね。遠藤周作先生がお亡くなりになられて、すでに二十年以上が経つたとは、信じ難い思いです。

▼先生から、よく電話がかかってきました。ほとんど遊びの相談で、京都に桜を見に行かんか。とか、越前にカニを食いにしよう。といった電話でした。いまでもふと先生から電話が掛かってきそうな気がしてなりません。

▼ご自分で一方的に話され、こちらが受けこたえをしているときには、すでに切れているということが、少なくありませんでした。

▼「電話魔の遠藤」とご自分で仰っていましたが、天国からこの世に通ずる電話はありません。それでもかかってきそうな気がしてならないのです。(観)

「周作クラブ」第90号

2023年2月発行

■編集人 高橋千劍

■副編集人 亀岡 園子

■編集部 一田佳希、大原雄、近藤恭弘、高木香織、清水優子

■発行所 東京都世田谷区上馬4-29-17 加藤宗哉事務所内「周作クラブ」

Eメール Shusaku_club@yahoo.co.jp